



産学・地域連携推進機構

知財部門ニュース

2007年11月1日

(第8号) [通番37号]

発行：鳥取大学

産学・地域連携推進機構

知的財産管理運用部門

(旧知的財産センター)

電話：0857-31-6000(内2765)

目次

11月の特許相談会	1
鳥取・島根発新技術説明会開催	2
知的財産インターンシップ実習報告	3
産官学連携フェスティバル2007報告	4
中国地区NEDOフェロ-研修会報告	4

11月の特許相談会

今月は鳥取地区で2回あります。相談をご希望の方は予約をお願いします。

場 所：産学・地域連携推進機構2階 会議室

【鳥取地区1】相談員：滝本智之弁理士（電機・機械関係他）

日 時：11月13日（火）13：30より

【鳥取地区2】相談員：田中光雄弁理士（医獣・バイオ関係他）

日 時：11月14日（水）13：30より

研究発表前に必ず特許出願

相談は随時受け付けています。

希望される場合は事前に連絡をお願いします。

相談員：佐々木茂雄 知的財産管理運用部門長

山岸大輔 NEDOフェロ-（コーディネーター）

場 所：産学・地域連携推進機構2F 知的財産管理運用部門

電 話：0857-31-6000(直通) (内線2765)

FAX：0857-31-5474(専用)

メールアドレス：

知財部門メールリスト / chiteki@adm.tottori-u.ac.jp

鳥取・島根発 新技術説明会開催のお知らせ

「鳥取・島根新技術説明会」が、12月7日に独立行政法人科学技術振興機構「JSTホール(東京)」で開催されます。

この説明会は、鳥取県(鳥取大学、鳥取県産業技術センター)と島根県(島根大学、島根県産業技術センター)が、研究成果の実用化を促進する目的で、このたび初めて連携して開催するものです。

事前登録が必要ですので、直接、科学技術振興機構(JST)ホームページのエントリーフォーム

(<http://jstshingi.jp/>: 右はトップページ)で申込む

か、または鳥取大学 産学・地域連携推進機構 知的財産管理運用部門(連絡先は1ページ参照)にご連絡下さい。

鳥取大学の発表は次のとおりです。

分野: 医療・健康、ものづくり、材料
開催日: 2007年12月7日(金) 10:30~17:30
会場: 科学技術振興機構 JSTホール(市ヶ谷)

**鳥取・島根発
新技術説明会**
New Technology Presentation Meetings!
2007年12月7日(金) 10:30~17:30
科学技術振興機構 JSTホール(東京・市ヶ谷)

主催: 国立大学法人 鳥取大学
国立大学法人 島根大学
地方独立行政法人 鳥取県産業技術センター
島根県産業技術センター
独立行政法人 科学技術振興機構

後援: 鳥取県 島根県
財団法人 鳥取県産業振興機構
財団法人しまね産業振興財団
独立行政法人 中小企業基盤整備機構

参加費: 無料【事前登録制】
定員: 各説明 100名
情報交換会: 17:30~18:30(会費:1,000円)

**大学発の
ライセンス可能な
特許を発表!**
(本公開特許を含む)
発明者自身が、企業関係者を
対象に実用化を希望し、発明
説明会を行い、広く実用企業
共同開発パートナーを
募ります。

医療・健康分野	<p>【発表者】 医学部 植木賢医員 (発表時間: 10:50~11:20) 【内容】 内視鏡手術時に切除片をつかんで自在に挙上・採取できる把持クリップ</p> <p>【概要】 胃, 食道, 大腸癌などの内視鏡的粘膜切除術において, “外科医の左手”の役目である切除片の把持・挙上を可能とし, 視野の広さを確保する処置具を提供します. “胃内腔”という限られた空間でも左手の役目をする処置具を使用して病変粘膜と筋層を離し, 胃穿孔などの偶発症を防ぎます.</p>
	<p>【発表者】 農学部 南三郎教授 (発表時間: 11:20~11:50) 【内容】 ケロイドを生じない生体に対する皮膚再生剤</p> <p>【概要】 キチンが創傷治癒促進効果があることは知られているが, 皮膚再生に関する情報はなかった. 発明者は皮膚再生に関して高分子キチンにはその効果はなく, その構成単糖である N-アセチル-D-グルコサミン (GlcNAc) にその効果を証明した.</p>
	<p>【発表者】 工学部 小幡文雄教授 (発表時間: 13:40~14:10) 【内容】 超高精度位置決めを実現するハイブリッド型直動案内</p> <p>【概要】 鏡面仕上げした摺動面を有するすべり案内方式の直動案内と転動体を利用したころがり案内方式の直動案内を一体化させた直動案内装置であって, すべり案内の摺動面ところがり案内の転動体に作用する負荷の分担率を簡単に調整できるようにして摩擦係数と摩擦係数の速度依存性の低減を図った高剛性・高振動減衰性直動案内である.</p>
ものづくり分野	<p>【発表者】 工学部 長島正明助教 (発表時間: 15:50~16:20) 【内容】 高強度アルミナ透光材の開発と次世代型高輝度放電ランプへの展開</p> <p>【概要】 透光性アルミナは, その優れた耐熱性・耐食性により, 高圧ナトリウム型の高輝度放電灯 (HID) の発光管として利用されている. 本研究では, 安価な手法により優れた透光性と機械的性質の両立したアルミナ透光材を研究開発し, HID など様々な光学材料への応用展開を図ることを目的としている.</p>
	<p>【発表者】 工学部 長島正明助教 (発表時間: 15:50~16:20) 【内容】 高強度アルミナ透光材の開発と次世代型高輝度放電ランプへの展開</p> <p>【概要】 透光性アルミナは, その優れた耐熱性・耐食性により, 高圧ナトリウム型の高輝度放電灯 (HID) の発光管として利用されている. 本研究では, 安価な手法により優れた透光性と機械的性質の両立したアルミナ透光材を研究開発し, HID など様々な光学材料への応用展開を図ることを目的としている.</p>



知的財産インターンシップ実習報告!!

平成19年度知的財産インターンシップ実習は本学学生の2名(3年生)に対して行いました。(実習内容の詳細は知財部門ニュース第6号[9月刊行]をご覧ください。)

【事前演習】

実習日：8/13(月)または8/24(金)
対応責任者：鳥取県工業所有権情報・研修館
村上耕一特許情報活用支援アドバイザー
内容：特許電子図書館専用端末機他で特許情報のWeb検索方法を体験。
知財の基礎・特許情報調査のあり方・発明のポイントを学んだ。

【実習(1)】

期間：9/5(水)から9/7(金)の3日間
場所：産学・地域連携推進機構 技術相談室(9/5)
鳥取大学 特許電子図書館室(9/6、9/7)

対応責任者：佐々木知的財産管理運用部門長

指導：村上耕一特許情報活用支援アドバイザー

実習内容：インターンシップ実習者が個々に考案した発明アイデアをパテントコンテスト(文部科学省他主催)に応募する目標を定め、実際に応募書類を作成し、特許情報検索(自分のアイデアと類似又は同様な案件を調査)して得た特許公開公報を添付し、提出(9/18)した。

(選考結果は10月末予定)



【実習(2)】

期間：9/25(火)から10/3(水)の期間内4日間

場所：) 滝本特許事務所及び大阪府立特許情報センター(大阪市)(9/28)
) 青山特許事務所(大阪市)(9/25~9/27、10/1~10/3)

対応責任者：) 滝本智之弁理士(客員教授) 引率者(佐々木、山岸)
) 田中光雄弁理士(客員教授) 引率者(佐々木、山岸)

実習内容：

) 滝本特許事務所滝本弁理士による特許関係の説明後、大阪府立特許情報センターを見学。ここは、旧夕陽丘図書館の特許資料部門を継承(H8年4月)しているため、古くからの特許情報文献を紙で多量に保管している施設で、様々な事業を通して特許情報の収集や提供の拠点になっていることを、職員による事業説明や資料から実感できた。



) 青山特許事務所田中弁理士・富田弁理士による発明の把握や請求範囲の作成ポイントの説明後、次の特許明細書(翻訳文)を作成。

・発明の名称(英語表記)：

「LIQUID ORAL COMPOSITIONS COMPRISING A CALCIUM COMPOUND AND AN ACIDULANT」

・発明の名称(日本語表記・翻訳後)：

「カルシウム化合物と酸味料からなる液体口腔組成物」

ここでは、英文明細書を和訳するときの難しさ・書類の扱い方や管理、またコミュニケーションの大切さなど多くを学んだ。

【まとめ】

期間：10/11(木)

場所：産学・地域連携推進機構 研修室

参加者：実習生2名、

村上耕一特許情報活用支援アドバイザー、

佐々木部門長、山岸NEDOフェロ-

実習内容：個々の実習内容(先行技術調査・コンテスト応募・明細書作成)について報告。作成したレポートの報告と意見交換



産官学連携フェスティバル2007

今年で9回目となる「産官学連携フェスティバル2007」が、10月24日に鳥取県立県民文化会館で盛大に開催されました。

今年も、株式会社アオキの青木豊彦代表取締役の基調講演「夢の実現で地域活性化を」と、産官学連携の方向を探るパネルディスカッション等が催されました。

シーズ発表は、ポスターセッション形式で行われ、知的財産関係では、12シーズを第2会議室に展示発表しました（発明者・シーズ名等の詳細は、知財部門ニュース第7号[10月号]をご覧ください）。



中国地区NEDOフェロ - 研修会報告

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の中国地区NEDOフェロ - 研修会が10月26日ベンチャー・ビジネス・ラボラトリ - のセミナー - 室で開催されました。

NEDOフェロ - は、NEDO技術開発機構の「産業技術養成技術者」です。鳥取大学知的財産管理運用部門では、平成18年10月から山岸大輔NEDOフェロ - を受入れ、技術シ - ズを迅速に実用化・事業化につなげていく業務を積極的に行っていただいています。

研修会では、佐々木部門長の特別講演「鳥取大学における産学連携」、山岸NEDOフェロ - の提案発表、山口大学や広島大学の産学連携の紹介などのほか、活発な意見交換が行われました。



